

賛同人

田中優子  
法政大学名誉教授



金平茂紀  
ジャーナリスト



上野千鶴子  
社会学者



01/14 撮影 ● 菅原

# 関西生コン 京都事件

# 無罪判決をを求める

## 署名活動のよびかけ

吉田美喜夫  
立命館大学名誉教授



浜 矩子  
同志社大学名誉教授



竹信三恵子  
ジャーナリスト



内田 樹  
凱風館館長  
神戸女学院大学名誉教授



西谷文和  
ジャーナリスト

### 労働組合活動を

「京都事件」は、ベスト・ライナー、近畿生コン、加茂生コンの3つの事件（労働争議）を併合審理する刑事裁判です。労働争議の解決金を受領したことが「恐喝」とされています。

争議解決にあたって、会社側に解雇期間中の未払い賃金、雇用保障、組合の闘争費用などを解決金として支払わせることは、裁判所や労働委員会でも当然の実務として定着しています。ところが、警察・検察は、関生支部は労働組合を名乗る反社会勢力で、金銭目当てで活動してきた——そんなストーリーで前代未聞の事件を仕組んだのです。

(詳しくは次ページ以降を参照してください。)

企業の団結権侵害に対する抗議行動や団体行動を犯罪扱いする警察・検察の暴挙を許せば、憲法 28 条が保障した労働基本権がなかった時代への逆戻りです。裁判所は毅然たる姿勢で無罪判決を出すべきです。すべての労働組合のみなさまに署名活動へのご協力をよびかけます。

(署名活動の実施要領などは裏面参照)

犯罪扱い  
させません  
なりません

関西生コンを支援する会

# 「京都事件」とはなにか

## 12年に及ぶ労働争議が 恐喝とされたベスト・ライナー闘争

京都事件は労働争議の解決金が「恐喝」とされた事件だ。争議解決にあたって、会社側に解雇期間中の未払い賃金、雇用保障、組合の闘争費用などを解決金として支払わせることは、裁判所や労働委員会でも当然の実務として定着している。ところが、警察・検察はそんなことは知らん顔。関生支部は労働組合を名乗る反社会勢力で、金銭目当てで活動してきた——そんなストーリーで前代未聞の事件を仕組んだのだった。

京都事件では、湯川委員長と武・前委員長のふたりが被告人とされ、ベスト・ライナー、近畿生コン、加茂生コンの3つの事件を併合審理。公判前整理手続（2019年9月～22年1月に21回）ののち、2022年1月に京都地裁ではじまった公判は26回を数え、検察側20人、組合側6人の証人調べと被告人質問が3月で終了した。6月には検察が論告で懲役10年という信じがたい求刑をしている。9月には弁論があり、2025年2月に判決の予定だ。

労働争議がどのように事件に仕立て上げられたのか。事実経過を振り返りつつ、その意味を考えてみよう。

### 執拗にくりかえされる不当労働行為

1998年、京都生コン協組が協同組合の専属輸送会社としてベスト・ライナー（以下、ベスト）を設立した。当時、関生支部は協組加盟7社のうち5社で分会を結成し、活発に活動していた。協組の実権を握る福田俊夫・営業本部長（京都福田）、田上正男・副理事長（近畿生コン）は関生支部の影響力を封じ込めるためベストを設立したのだった。

2002年10月、福田らの思惑に反して、11名のドライバーが関生支部に加入してベスト・ライナー分会を結成した。会社は団交申入書の受け取りを拒否して、退職強要のあげくに全員を解雇。ここから12年間に及ぶ組合つづし攻撃とのたたかいははじまる。

関生支部はベストの実質的支配者である京都協組に不当労働行為の中止を申し入れた。しかし、協組が動こうとしないの

で、集団交渉参加企業（図を参照）の各工場では争議行為を開始した。その結果、2003年4月、ベストは解雇撤回、1年後の正社員化などを約束していったん解決した。

### 解雇の次は兵糧攻め

正常な労使関係がスタートするはずだった。ところが、京都協組は正社員化の約束を守らない。それどころか、車両を大幅に減らして営業を縮小、兵糧攻めを開始した。組合員は7名に減った。

ベストの代表取締役は福田の子飼いの人物だったが、後にも先にも会社に姿を見せず、団体交渉にも出てこない。設立経緯や実態からみればベストの真の支配者は京都協組であることをふまえ、関生支部は京都協組加盟5社との集団交渉で約束履行をくりかえし求めた。

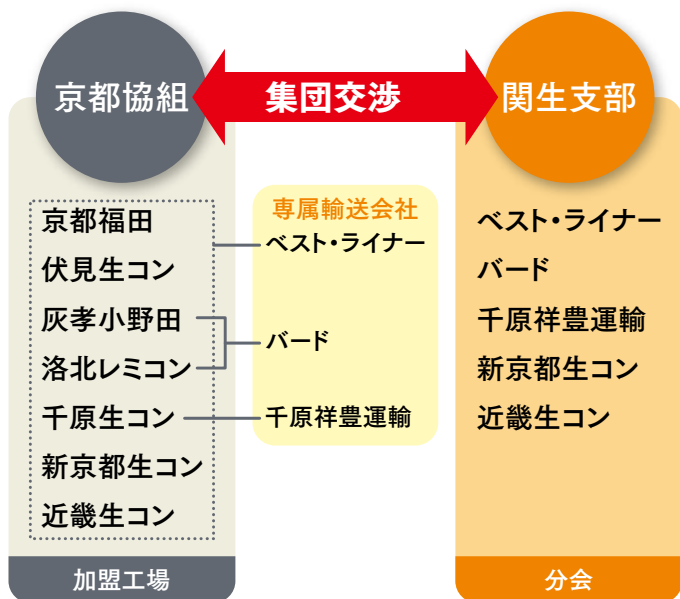
2008年、正社員化と労働条件の事前協議制などについて協定を締結。京都協組の理事1名がベスト取締役役に就任して、6年超の争議に終止符が打たれるかにみえた。

それでも福田ら京都協組の反組合派はあきらめない。経営健全化の要求に耳を貸さず、ベストの仕事干し上げをつづけ、運転資金を京都協組が貸し付けてベストを債務超過に追い込む作戦に出た。

### 「カネで手を引いてくれ」

2012年2月には京都協組とベストの代理人を名乗る暴力団関係者が支部に乗り込み、金を出すから組合員を退職させて手を引けと迫った。関生支部はこれを拒否。企業閉鎖の強行に備えて24時間の泊まり込み体制に入ると同時に、集団交渉参加企業で争議行為をおこなった。

その結果、各社は不当労働行為を放置した責任について謝



罪文を提出。同年6月、集団交渉において、ベストを黒字経営にするか、あるいは京都協組が雇用責任を負うかの二者択一で解決を図るための小委員会を設置して2013年3月末までに解決を図ることになった。

## 京都協組の雇用責任が問題の核心

3度目の正直となるはずだった。だが、この期に及んでも福田ら反組合派はあきらめない。期限の2013年3月が来ると、京都協組は「解決金1億5000万円でベスト閉鎖と組合員退職を了承してくれ」と申し入れてきた。

これに対し関生支部は「京都協組の雇用責任を明確にしない金銭解決は受け入れられない」と返答。断続的に協議がつづいた2014年3月、関生支部が春闘とあわせてストライキを打った結果、組合員の移籍先の運送会社、生コン工場が支払う運賃、移籍先が万が一倒産した場合の京都協組の責任、解決金の支払いなどを明記した協定書が作成された。

ところが、またもやである。京都協組の雇用責任に関する部分に協組理事の一部が難色を示し、協定を履行しなかった。関生支部は同年6月、2度にわたりストライキを打つ。京都協組がようやく上記協定の履行を表明したことから、関生支部は争議行為を解除した。

同年8月26日、組合員7名が退職届をベストに提出して移籍先に就職へ。翌日京都協組は解決金を関生支部に支払った。

## 検察の作文

団交拒否、退職強要、解雇、正社員化の約束不履行、仕事干し上げの兵糧攻め…あの手この手の組合つぶし攻撃はことごとく失敗した。そのあげくに、解決金を支払うからベストを店仕舞いさせてくれと言い出したのは京都協組だ。

これに対し組合側は言い返す。いや、金を払えば済む問題じゃない、協組の雇用責任が肝心だ。その点を明確にして決着したのが12年間にわたるベスト・ライナー闘争だ。

ところが、検察の手にかかると、この労働争議が以下のように恐喝事件に様変わりする。

「ベスト・ライナーの解散に際して、京都協組の理事らが同社の設立に関与していたことから、京都協組が同社を退職する組合員7名の退職金などを支払う必要があるなどと因縁を付けて京都協組から現金を脅し取ろうと考え…各社の生コン出荷を阻止し、その要求に応じなければ、理事らの身体、財産及び同人らが経営する会社の営業等に危害を加えかねない気勢を示して怖がらせ…」(「起訴状」)

## 被害届はなぜか5年後

ベスト・ライナー事件で湯川委員長らが逮捕されたのは2019年9月4日。争議解決からじつに5年の時間が経過している。

2002年10月	ベスト・ライナー分会結成 →以後、12年間の長期争議つづく
2014年9月	ベスト・ライナー闘争解決
2015年10月	京都協組の体制一新 →4協組と関生支部の協力で業界再建へ
2016年2月	近畿生コン破産、工場占拠闘争開始
2016~17年	価格値戻しすすむ(1万7000円)
2017年10月	加茂生コン分会結成
2019年6月	加茂生コン事件で5名逮捕・起訴
8月	近畿生コン事件で2名逮捕・起訴
9月	ベスト・ライナー事件で2名逮捕・起訴

考えてみてほしい。「要求に応じなければ、理事らの身体、財産、会社の営業に危害を加えかねない気勢を示」されて怖かったというなら、京都協組の理事たちはどうして解決金を脅し取られた直後に被害届を出さなかったのだろうか。関生支部が怖くてたまらないからじっと身を潜めていて、正気に返ったら5年が過ぎていたとでもいうのだろうか。

そんな滑稽なことがあるはずもない。

実際には、京都協組は闘争解決後の2015年10月、緊急理事会で福田営業本部長を解任して体制を一新。関生支部と協力して業界再建活動をスタートさせていた。

## 関生支部との政策協力で業界再建に成果

バブル経済崩壊後の1990年代以降、京都地域でも、建設需要の大幅減少、そして、イン(協組加盟企業)とアウト(未加盟企業)の価格ダンピング競争激化で、生コン販売価格は表向きは1万5000円/m<sup>3</sup>だが、実際の取引価格は2割前後の値引きが当たり前。1万円割れのケースも珍しくなかった。

「このままでは生きられない」と理事会議事録(2015年3月)には切羽詰まった危機感が記されていた。ベスト・ライナー闘争の解決を機に関生支部との協力関係に舵を切った背景を読み取ることができる。

関生支部はベスト・ライナー闘争の期間中も、業界再建の環境づくりのためアウト業者に働きかけて独自の協同組合を発足させていた。そして、体制刷新後の京都協組と、これら独自協組が大同団結して、2017年7月には協組連合会が発足してい

く。記念パーティーには労働組合代表として当時の武委員長が招かれ、理事たちは満面の笑顔で握手を交わした。販売価格は1万7400円に上昇していった。

これこそがベスト・ライナー闘争解決後の5年間の真実だ。

## 「被疑者」から「被害者」に

2019年6月にまず加茂生コン事件、7月近畿生コン事件、そして9月ベスト・ライナー事件がはじまる。「恐喝」容疑で逮捕

されたのは湯川委員長、武・前委員長ら組合員だが、じつは当初は協同組合の理事も「被疑者」（恐喝の共犯者）として取り調べを受けていた。警察に逮捕をちらつかされた理事は、「被害届」を出すことに同意する。そのとたん、理事の取り調べは「被疑者」ではなく「被害者」に対する事情聴取へと変わった。

事件はこうしてつぐられ、湯川委員長らは先に引用した「起訴状」で起訴されていく。京都協組は2019年7月、「連帯労組との訣別」を決議した。

# 近畿生コン闘争と 生コン業界再建活動

## 労使協調路線に反発

ベスト・ライナー闘争解決から1年後の2015年10月、京都協組は反組合派の実力者、福田俊夫営業本部長を緊急理事会で解任、関生支部との政策協力に舵を切った。労使で生コン業界再建にとりくむためだ。

京都協組は安売り競争に終止符を打つべく、アウト業者が関生支部の働きかけで設立した別の生コン協同組合（京都中央協組）と共存共栄政策を打ち出した。

その矢先の2016年2月、福田と並ぶ反組合派の田上正男が近畿生コンの破産を申し立てた。福田解任で協組内で実権を失った田上は、協組執行部の労使協調路線に嫌気がさして事業を投げ出したのだった。近畿生コンには当時、正社員組合員1名のほか、日々雇用組合員3名の優先雇用枠があった。組合員の雇用を守るため、関生支部は緊急対策に迫られた。

## 「工場を占拠してほしい」

だが、関生支部以上に切迫した危機感をもって行動をおこしたのは京都協組だった。破産となれば工場の競売は必至。京都市場参入をねらう新規業者が入札して、万が一にでも土

地と設備を競落することになれば、ふたたび安売り競争がはじまり、軌道にのりかけた生コン価格値戻し活動は一瞬にして吹き飛ばされてしまうからだ。

破産は思いとどまるよう京都協組は近畿生コンに説得を試みてきた。だが、破産が現実のものとなった以上、新規参入業者による競落という最悪の事態を防ぐ手段はひとつしかない。理事たちは腹を決めて関生支部に協力を依頼した。「新規参入業者の競落を防ぐために工場を占拠してほしい。占拠中の経費と組合員の雇用については京都協組が責任をもつ」。

こうして業界再建という労使共通の目標を見据えた工場占拠闘争がはじまった。

## 値戻し実現で各社は黒字転換

半年後、生コン業界とは関係のないスーパーが土地と工場財団一式を競落したことが確認され、京都協組の懸念は払拭された。関生支部は工場占拠闘争の終結を決め、2016年10月28日、24時間体制を解除した。

10月31日、京都協組と関生支部は占拠期間中の経費精算について協組会議室で話し合い、京都協組は理事会で関生支部と合意した金額を解決金として支払うことを決定した。12月には近畿生コンの工場設備の解体作業がはじまった。

翌年の2017年7月、京都協組、京都中央協組など京都地域の4つの協同組合が「京都生コン協組連合会」を設立。業界がまとまったことで安売り競争はなくなり、かつて1万円割れも珍しくなかった販売価格は1万7400円に上昇していく。2018年にかけて各社決算は軒並み黒字転換していった。近畿生コン闘争を経て実現した業界再建の成果にほかならない。

## 3年経って恐喝事件に

これが近畿生コン闘争の発端と経過、その成果だ。

ところが、解決からおおよそ3年経った2019年7月17日、武委



近畿生コン闘争 (2016年)

員長（当時）と湯川・現委員長（当時は副委員長）が京都府警組織犯罪対策課に逮捕された。8月には京都地検が上述の解決金受領を恐喝事件として2名を起訴した。

検察の起訴状は次のように書かれている。

「（武、湯川両名は）かねてから要求に応じない場合に、関生支部が各社の生コン出荷を阻止するなどの妨害行為をくり返した結果、京都協組の各理事が関生支部を畏怖していることに乗じ、因縁を付けて現金を脅し取ろうと考え・・・近畿生コンが破産申立てをしたことに伴い、同社に割り当てられていた販売シェアが他の6社に分配されたのであるから京都協組は関生支部に解決金を支払う必要がある旨言い、もしその要求に応じなければ、同人らの身体、財産及び同人らが経営する会社の営業等に危害を加えかねない旨の氣勢を示して怖がらせ、6千万円を交付させた。」

おかしい話だ。恐喝事件だというなら、被害者はだれなのか。工場占拠によって新規参入業者による安売り競争を未然に防ぐことに成功し、業界再建が軌道に乗ったおかげで黒字

転換できた。その受益者の京都協組を被害者にするのは、いくらなんでも無理がある。

## 「因縁を付けて」いるのはだれか

今年6月17日、京都事件公判で検察は両名に「懲役10年」を求刑した。殺人事件並みである。

検察は論告でこう主張した。「関生支部は京都協組理事らの畏怖に乘じ、ストライキを手段として、あるいは関生支部の組織力を背景に、本件以前から解決金の支払を含む自らの要求に応じさせるスキームを確立していた」。

ベスト・ライナー闘争や近畿生コン闘争で関生支部がとりくんだ活動は正当な組合活動以外のなものでもない。しかし、検察はそれを否定し、関生支部は企業からカネを脅し取ることを目的とした反社会組織だという見立てのもとで、身勝手な事件のストーリーを仕立て上げた。そして、経過のごく一部を切り出してそのストーリーに当てはめて、ほらみろ、これは金銭目当ての恐喝事件なんだと執拗に主張するのである。京都事件は検察が正当な組合活動に「因縁を付けて」仕立て上げた冤罪というほかない。

## 「解決金」の考え方の発展

労働争議の解決金は闘争期間中の実損回復（未払い賃金＝バックペイや闘争費用）が一般的だ。ただ、それだけでは不当労働行為のやり得を許さなかったことにはなっても、争議解決後の組合員は散り散りバラバラになって未組織状態に戻るケースも多く、団結権の権利回復という面で十分ではない。

1970年代後半以降、偽装倒産・破産で企業もとともに組合壊滅をねらう大企業の攻撃と対決する争議が多発する。争議と生活を両立させるため労働組合は工場を占拠して自主生産にとりくみ、争議解決時には実損回復に加えて工場設備と土地を獲得して団結とその拠点を確保

する成果をあげた。闘争中に生まれた団結の絆を維持して、勝利した争議組合は自主生産をつづけながら地域の労働運動発展の一翼を担った。別表は全金田中機械(大阪)を嚆矢とするその実践と思想から生み出された事例の一部。戦後最大の争議のひとつ、国鉄闘争の解決水準もその延長線上に得られたものだ。2010年4月のいわゆる4党合意（「JR不採用問題の政治解決案」）による解決金は199億円。和解金は組合員1人当たり1563万円で、そのほかに、闘争団が設立・運営してきた事業体支援のための補償金58億円＝団結の拠点維持のための雇用保障金が含まれていた。

裁判官は、こうした労働運動発展の系譜のなかにベスト・ライナー闘争や近畿生コン闘争とその解決金を位置付け、公正な判断をすべきである。

労働争議（労組）	争議内容	解決金等（年月）
パラマウント （パラマウント製靴労組）	倒産解雇・工場占拠・自主生産	1回目1億2千万円＋工場土地・設備（1986年11月）
東芝アンペックス （全造船東芝アンペックス分会）	倒産解雇・工場占拠・自主生産	9億円＋工場土地・設備（1990年12月）
灰孝小野田レミコン（関生支部）	解雇・懲戒処分	3億円＋新会社設立（1992年11月）
国鉄・JR不採用 （国労闘争団など4者4団体）	採用差別	199億3291万円（2010年6月）
京品ホテル（東京ユニオン）	破産・占拠・自主営業	1億2500万円（2010年1月）

注：パラマウントの2回目以降の解決金額不明。万円未満の解決金は省略

## 関西生コン 京都事件

### 無罪判決を求める署名活動のよびかけ



#### 広がる無罪判決の流れ、メディアの変化

「関西生コン事件」に大きな局面変化が生まれています。8つの刑事裁判では、この1年あまりで3件11名の無罪判決が確定し、一連の事件は生コン業界と警察・検察によって仕組まれた冤罪だったことがはっきりしてきました。国連人権理事会のビジネスと人権部会も正当な組合活動を犯罪扱いすることに懸念を表明し、メディアも沈黙を破りはじめています。

MBSのドキュメンタリー番組「労組と弾圧～関西生コン事件を考える」(2024年3月放映)は、「労働組合に対するあからさまな弾圧を正面から告発した」力作と評価され、放送業界でもっとも権威あるギャラクシー賞選奨作品に選ばれました。

この流れをさらに加速するために必要なのは、来年2月判決予定の「京都事件」で無罪判決を獲得することです。

#### よびかけ人

鎌田 慧(ルポライター)

海渡雄一(弁護士)

佐高 信(評論家)

染 裕之(平和フォーラム共同代表)

内田雅敏(弁護士)

菊池 進(全日建委員長)

### 署名活動の実施要領

#### 提出先

京都地方裁判所第2刑事部

#### 署名の種類

団体署名を実施します(個人署名はありません)

署名用紙は「関西生コンを支援する会」公式ホームページからダウンロードできます。

<https://www.sienkansai.org/>

#### 集約と提出

第1次集約 9月末日(10月中旬提出)

第2次集約 10月末日(11月中旬提出)

最終集約 11月末日(12月中旬提出)

#### 送り先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 連合会館 1F

フォーラム平和・人権・環境気付

関西生コンを支援する会 電話 03-5289-8222

## 会員拡大にご協力ください

### 関西生コンを支援する会

#### 加入方法

#### 年会費

お申し込みは

郵便振替

で!

00170-8-792379 関西生コンを支援する会

年会費 個人[メール配信]2000円 [郵送]3000円 団体5000円(1口以上をお願いします)

【お名前/団体名】【おところ】【メールアドレス】を記入して、年会費を添えてお申し込み下さい。

「支援する会ニュース」を登録されたメールアドレス宛てに配信します。

